

2023年11月27日

農林中央金庫

“農林水産業由来”のカーボンドレジットの媒介業務開始について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）は、「カーボンニュートラル社会の実現」「自然資本への貢献」「生産者所得の向上」を目的として、この度「国内における農林水産業由来のカーボンドレジット」の媒介業務を開始し、第一号案件の媒介を実施いたしましたので、お知らせいたします。

当金庫は、自らの存在意義（パーパス）を“持てるすべてを「いのち」に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～”と定めており、このパーパスの実現・発揮に向けて、環境・社会課題の解決に取り組んでまいります。

■ 趣旨

社会がネット・ゼロ、カーボンニュートラル目標に向かうなか、企業・団体の自助努力だけでは賅いきれない GHG 排出量の削減に対して、“農林水産業由来”のカーボンドレジットによるオフセット・インセットも必要な手段の一つと考えております。そのうえで、当金庫は農林水産業を基盤とする金融機関として、これまでもカーボンドレジットにかかる組成・流通活性化に取り組んでまいりました。

今般、当金庫は、“農林水産業由来”という国内自然資本にフォーカスしたカーボンドレジットの媒介業務を開始いたしました。本媒介業務を通じて、地球温暖化対策に取り組む企業・団体のオフセットニーズに応えるとともに、農林水産業への資金循環をサポートすることで、「カーボンニュートラル社会の実現」「自然資本への貢献」「生産者所得の向上」を目指してまいります。

また、気候変動のみならず、「自然資本の維持」や「生物多様性への保全」などの課題との同時解決を図るうえでも、「地域の農林水産業の脱炭素」がますます重要になっております。当金庫としては、「脱炭素」と「生物多様性」の双方への貢献を意識したクレジット創出が今後のカーボンドレジット市場においても不可欠と認識しております。

今後、より一層、カーボンドレジットを通じ適切に自然資本に資金が循環するために、日本全国の農林水産業ネットワークに強みを持つ当金庫が、生産者と企業・団体による“農林水産業由来”のクレジット取引にかかる橋渡しをしてまいります。

■ 第一号案件の概要

山国川流域森林組合（所在地：大分県）が創出した森林整備由来のカーボンドレジット（J-クレジット）を、当金庫が媒介し、西部ガス株式会社（所在地：福岡県）が購入いたしました（売買契約締結日は2023年11月27日）。

■ 関連プレスリリース（参考情報）

- ✓ 森林由来クレジットによるカーボンニュートラル社会への貢献を目指した連携協定の締結とプラットフォームの立上げについて（2023年1月13日）
(https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2023/post-910.html)
- ✓ 農林中央金庫と株式会社フェイスとの業務提携について～農業分野の脱炭素推進とカーボンクレジットを通じた収益化向上を目指して～（2023年6月9日）
(https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2023/post-934.html)
- ✓ 農林中央金庫と株式会社 TOWING との業務提携について（2023年10月6日）
(https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2023/-towing.html)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 コーポレートデザイン部 広報コミュニケーション班（宮澤、水元）

TEL : 03-6362-7172